




事業番号	06 01 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	環境保全研究所費	部局	環境部	課・室	環境政策課		
		実施期間	H7 ~	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	④インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加			⑦健康長寿日本一を維持			
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり	4-4 生命・生活リスクの軽減				
	4-5 地球環境への貢献						

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全に関する試験検査、調査研究、情報の収集・提供の推進 <ol style="list-style-type: none"> 迅速で正確な検査により行政のバックアップ 行政課題を反映させた調査研究の実施 県民に開かれた信頼される研究所 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 行政検査、一般依頼検査の実施、環境の保全及び保健衛生に関する調査研究、放射能測定調査等 安茂里庁舎:生活環境の保全、感染症や食中毒、食品の安全性等に関する試験検査及び調査研究 飯綱庁舎:自然環境の保全、気候変動影響及び適応策等に関する調査研究、環境学習 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理事象などに即応する技術力の維持や測定機器の老朽化などに課題がある。 その時々に応じた行政課題やニーズに即した調査研究の実施が求められる。 当所で実施している業務や研究について、広くわかりやすい情報発信が必要。新型コロナウイルス感染症対応としてサイエンスカフェ等の実施が中止や延期になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 国などが主催する研修等に参加するとともに、令和3年8月に策定した「技術・技能伝承の基本方針について」に基づき技術の継承を行う。また、計画的な機器の更新を進める。 翌年度の研究課題について、早い段階から関係課の意見を聴取し、行政の視点やニーズを反映させる取組を継続する。 サイエンスカフェや公開講座による研究成果の県民への公表を引き続き進める。新型コロナウイルス対応をしつつ、オンラインの積極的活用。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> 行政からの依頼検査及び調査研究等の実施 <ul style="list-style-type: none"> 環境部門:河川湖沼の水質モニタリング、大気常時監視、廃棄物処分場調査、生物多様性の保全に係る研究 保健衛生部門:感染症や食中毒発生時の原因究明、食品中の残留農薬等検査 特定項目、新型コロナウイルス感染症に係る遺伝子検査や原発事故に係る放射性物質検査 信州気候変動適応センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> 平成31年4月環境エネルギー課(現環境政策課)と共同設置 長野県における気候変動の研究とそれに基づく適応策の影響を研究するとともに、得られた知見を県民に還元する。 サイエンスカフェの実施 <ul style="list-style-type: none"> 県民と研究所職員が直接対話する場として実施。(R4は新型コロナウイルス対応をしつつ、オンラインを含めて工夫して実施を予定) 情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用し、研究内容の紹介や活動の近況を発信する。 	  
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【ゼロカーボン】令和3年度に導入したEV(電気自動車)の活用を図る。また、購入する電力を100%再生可能エネルギー由来の電力に切替。</p> <p>【DX,学びの県づくり】サイエンスカフェなどによる県民への学びの場の提供を図る。</p> <p>【ゼロカーボン】気候変動の影響把握と対策に関する研究の実施及び県民への発信</p> <p>【学びの県づくり】「信州気候変動適応センター」の運営による適応策の推進 など</p>	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	環境保全等に関する研究数	件	23	↑	25	→	25	25
2	外部評価で概ね適切以上の評価を受けた研究の割合(A「適切」、B「概ね適切」、C「一部改善」、D「見直し」のうち(A+B)の割合)	%	100	→	100	→	100	100
3	公開講座等で参加者の満足度(アンケート調査による満足・おおむね満足)の割合	%					80	80
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)		R2年度	R3年度	R4年度	
	前年度繰越				要求	予算案
予算額	当初予算		122,003	109,633	要求	101,745
	補正予算		-1,310		予算案	96,884
	合計(A)		120,693	109,633	要求	101,745
	うち一般財源		61,770	71,429	要求	76,794
決算額(B)		77,470				
職員数(人)		59.0	59.0		59.0	

設定理由	成果指標	<ol style="list-style-type: none"> 研究数は研究の活性度の指標となる。 外部の委員による評価により、公正な評価が期待できる。 県民参加による参加者の満足度は開催した講座等の啓発効果を測る指標となる。
	目標値	<ol style="list-style-type: none"> ここ数年の研究数の推移を考慮し、各年度で実施の研究計画会議で決定されるもの。 「概ね適切」とされるレベル以上でないと研究意義が問われるため。学識経験者や公募委員等で構成された外部評価委員会で、実施中または終了した調査研究が県民益になっているか客観的かつ公正について判断する。各委員が判定した結果の割合(A「適切」、B「概ね適切」、C「一部改善」、D「見直し」のうち(A+B)の割合) 参加者の8割の方の満足を得たいため。

予算要求からの主な変更点	事業の緊急性を考慮し、庁舎の修繕に係る費用を減額
--------------	--------------------------

事業番号	06 01 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	環境保全研究所費			部局	環境部	課・室	環境政策課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
1	環境保全研究所管理費	52,832 千円	60,234 千円	要求 予算案	64,660 59,799 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	庁舎(安茂里、飯綱)管理経費	直接	庁舎光熱水費 燃料費 施設修繕費 等			
2	庁舎(安茂里、飯綱)	委託	消防施設保守点検業務 空調設備保守点検業務 電気保守点検業務 等			

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
2	環境保全研究所研究等事業費	69,171 千円	49,399 千円	要求 予算案	37,085 37,085 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	研究等事業費	直接	試験研究検査用品消耗品 パソコンリース代 医薬材料費 等			
2	放射能調査費	直接	大気常時監視システムリース代 検査消耗品代 調査補助金貸金 等			
3	放射能等測定機器点検業務	委託	放射能モニタリングポスト点検 ゲルマニウム半導体検出器点検委託 β線自動測定装置点検 等			